

国土交通省が進めるi-Constructionに呼応するとともに、作業品質の平準化及び向上を目指して、測量や調査業務にスマートグラスの活用を模索。実現可能性調査にて実証を行った上で採用を決定。

株式会社藤井基礎設計事務所				http://orchid.fujii-kiso.co.jp/wordpress/	
本社所在地	松江市	資本金	2000万円	事業概要	測量、調査、設計、調査装置・計測装置の開発など
代表者名	藤井俊逸	従業員数	88名(2023年8月時点)		
設立年	1974年	業種	建設コンサルタント業	地域未来牽引企業	○

背景

- 当社ではかねてより新しいICT技術を積極的に取り入れ、差別化戦略を推し進めてきていたが、国のICT活用方針(i-Construction)を受けて、さらに将来を見据えた取り組みをしたい意向を持っていた。
- 一方で、事業拡大による従業員増加に伴い、若手社員とベテラン社員の作業品質のバラつきがあり、平準化を図ることを目指していた。
- また、事業拡大に耐えうる経営管理体制を構築すべく、総務業務の改善を課題として捉えていた。

計画の骨子

PoCを実施し、スマートグラスの導入を決定

- ▶ 作業品質向上及び人材育成のためにスマートグラスの導入を計画
- ▶ 測量・調査現場からスマートグラスの映像を本社に送信し、ベテラン社員が遠隔で業務指導をするPoCを実施し、機器を選定
- ▶ 配信映像はアーカイブ化し、人材育成にも活用する予定

総務業務の改善も計画

- ▶ 既存システム「WANN」のメーカーとディスカッションを行い、「WANN」の継続利用を決定
- ▶ 「WANN」の運用改善に向けてプロジェクトを発足させ、まずは運用方法の社内標準化から取り組む